

平成24年9月6日

美里町議会

議長 相澤 清一 殿

総務、産業、建設常任委員会

委員長 大橋 昭太郎

### 総務、産業、建設常任委員会委員派遣報告書

本常任委員会は、所管事務調査を終了したので、委員会規則第22条の規定により下記のとおり報告する。

#### 記

1. 調査年月日 平成24年8月6日(月)～8日(水)
2. 調査視察地 兵庫県豊岡市
3. 参加委員 大橋昭太郎、梁川慶一、藤田洋一、櫻井功紀  
武者美太郎、村松秀雄、相澤清一議長
4. 調査事項 災害に強いまちづくり  
畜産振興について

## 1 視察目的

災害に強いまちづくりについて

豊岡市における、北但大震災や阪神大震災からの復興について。

当町と同様に合併自治体でもあるが、震災や水害に備える防災対策や日頃の取り組みについて。また、今般の震災では、いち早く救援物資を届けていただいたが、支援態勢について。

畜産振興について

美里町は、仙台牛の産地である宮城県下の統合家畜市場を有する町である。仙台牛の素牛として但馬牛が導入されるなど、但馬地方とは縁のある地である。ブランド牛の産地での畜産振興について。

## 2 豊岡市の立地

兵庫県北部(但馬地域)に位置する市である。但馬県民局管轄地域であり豊岡都市圏を形成する兵庫県北部の中心都市である。

- ・ 人口 88,234 人
- ・ 世帯数 32,512 世帯
- ・ 面積 697,66 k m<sup>2</sup>

### 調査事項 災害に強いまちづくりについて

豊岡市では平成 16 年 10 月 20 日の台風 23 号が、円山川流域に 2 日間で平均雨量 278 mmの豪雨をもたらし、円山川で堤防の決壊 1 箇所、出石川で堤防の決壊 1 箇所、29 箇所で越水、浸水面積 4,083ha、浸水家屋 10,332 戸に達する甚大な被害が発生した。

その災害を検証し「みんなの力で命と暮らしを守る」を合言葉に減災に取り組んでいる。

### 台風 23 号を検証して

- ・ 情報の発信や収集が不適切
- ・ 避難所の運営体制に問題があった
- ・ 職員にも市民にも油断があった
- ・ 公的機関の対応能力を超えた
- ・ 自主防災組織が機能しなかった



豊岡市内に設置されている平成 16 年洪水時の水深を示す標識

## 防災・減災に向けて

### 防災体制の整備

- ・ 緊急時は、各総合支所に地域本部を設置
- ・ 市長から総合支所長へ、避難勧告等の権限委任
- ・ 防災担当部署を防災課として独立
- ・ 防災監を部長級より上位に位置付け、全庁的対応を可能にした

### 災害対策拠点の強化

- ・ 市庁舎に非常用発電装置を設置（浸水対策のため発電機本体を地上 4.5 mの高所に設置した）

### 地域防災計画の作成

- ・ 防災ビジョン 「みんなの力で命と暮らしを守る」  
行政にも限界がある
- ・ 災害リアリズムに徹する
- ・ 減災の視点にたつ
- ・ 地域の力を蓄える

### 洪水ハザードマップの作成

#### 避難所の見直し、備蓄物資の充実と分散配置

- ・ 避難所 180 から 245 箇所
- ・ 想定避難者 2 日分の現物備蓄と 1 日分の流通備蓄
- ・ 主要な公共施設に分散配置

#### 情報取得、伝達体制の整備

- ・ 防災行政無線の整備拡充
- ・ J - A L E R T (ジェイアラート：全国瞬時警報システム) の接続
- ・ F A X 同報送信
- ・ とよおか防災ネット
- ・ 職員参集メール

#### 地域防災力の向上

- ・ 出前講座等の実施
- ・ 自主防災組織資機材整備に対する支援
- ・ 自主防災組織リーダー研修の実施
- ・ 自主防災組織育成、訓練に係る支援

#### 職員の対応能力の向上

- ・ 職員初動マニュアルの配布 (風水害、地震時の参集要領、配備基準等を記載した携帯版を全職員に配布)
- ・ 職員防災研修プログラムの実施

#### 台風 23 号メモリアル事業、メモリアル防災授業

#### 災害時応援協定の推進

#### 災害時要援護者支援対策の強化

### まとめ

今回の視察において、美里町と豊岡市との災害時相互応援協定の締結にも立ち合うことができた。豊岡市は東日本大震災発生直後の昨年 3 月 15,16 日に給水車を派遣し、その際の市職員の聞き取りに基づいて不足している灯油 4,000 ㍓やパン 3,000 食、子供用紙おむつ 600 枚なども送っていただいた。

美里町のみならず、多数の市町村にも支援をしてきたとの事であり、敬意を表するばかりである。

その豊岡市も水害による大災害を被っている。その災害を、綿密に検証し、防災、減災にむけ、取り組んでいる。

今、美里町の地域防災計画の見直しが進められているが、参考になる取組みが多数あると感じた。



豊岡市役所での研修のようす

## 調査事項 畜産振興について

但馬牛は、兵庫県産黒毛和種のこと、松坂牛をはじめ、神戸牛、近江牛などの和牛の8割以上の素牛となっている。

但馬牛の優れた特質は、但馬の厳しい自然と風土に培われた、他府県の血を入れない「閉鎖育種」で改良を重ねて受け継がれた優良な血統から生み出されているとの事である。

系統は「中土井系、熊波系、城崎系」があり、これらの遺伝的特質を保持することで多様性に富んだ但馬牛が生まれる。宮城の素牛になっている系統は、熊波系との事である。

## 豊岡市の畜産振興策

肉用牛 繁殖経営

市の予算 : 優良系統牛維持確保事業 420万円 助成  
(雌和牛生産分10万円、城崎系等5万円上乘せ)

肉用牛 肥育経営

- ・ 規模拡大を進め、後継者の確保を図る。
- ・ 肥育飼養管理マニュアルを活用し、事故率の低減や神戸ビーフ率の向上を図る。
- ・ 飼料自給率の向上をはかる。

耕畜連携助成 環境創造型農業と畜産業との連携を図るための助成  
市の単独助成（堆肥生産組合へ）

堆肥散布は年1回とし、散布量は10aあたり2トン

戸別所得補償交付金

耕畜連携の取組み（飼料作物のわら利用、水田放牧など）を行う農  
業者に対し、13,000円/10aの助成

平成23年度 20戸 554a 720千円

## まとめ

仙台牛の素牛のふるさととの事であり、畜産振興の取組みについて視察した。

研修に際し、豊岡市農林水産課課長をはじめ、豊岡農業改良普及センター、  
JAたじま、の職員の方々も出席していただいた。

但馬牛と仙台牛との比較グラフ等を作成いただき、懇切に説明をいただいた。

但馬牛のブランド化と高値販売のために、県、市、JAが連携をし、国内はもとよ  
り、世界にも販売していこうという強い姿勢がうかがわれた。

仙台牛のブランド化を推し進めていくについては、A5のランクの維持に努めて行  
く事が望ましいのではないかと、アドバイスも受けてきた。

美里町の畜産振興に生かせればと考えるところである。